

令和3年12月3日

能代市議会議長 菅原隆文様

1班 班長 畠貞一郎

議会報告会実施報告書

- 1 開催日時 令和3年11月26日（金）午後6時00分～7時15分
- 2 開催会場 東部公民館
- 3 参加者数 9人
- 4 出席議員 (班長) 畠貞一郎 (司会進行者) 落合範良 (報告者) 安井英章
(記録者) 佐藤智一
小林秀彦、庄司紘八
- 5 報告内容 (1) 令和2年度 議会の活動状況
(2) 予算、決算等の審議概要
①令和3年度能代市一般会計当初予算について
②令和2年度能代市一般会計決算及び特別会計決算について
- 6 意見、要望、提言等 別紙のとおり
- 7 その他特記事項 (改善点・気付いた点を含む。)

・来場者には会場において資料配布となるが、配布資料に対して直ぐに意見を求めることは困難であった。今後は事前配布の方法の検討や、これまでの報告手順を見直す等なんらかの対応が必要である。

※報告書は班長が開催日から21日以内に議長に提出するものとする。

(1) 議会に関する事項

番号	意見、要望、提言等の内容	報告会における対応
1	陳情と請願はどのような審査方法となるのか。	請願は紹介議員が必要となり、例えばその地区で何かを整備してもらいたい時など紹介議員がいれば請願となる。陳情は例えば自治会館を整備したい際に議会へ自治会長名等で要望を行うことになる。自治会や福祉系など各種団体等が行う陳情もある。議会の中で審議されるが、特定の団体が全国各議会に原発反対等、同様の陳情を提出する場合もある。我々としても地域からの陳情を重要視している。
2	陳情、請願はどうやって提出するのか。	議会事務局へ提出となる。
3	市の条例を見直す場合、どの程度大変なのか。	条例の改定の仕方には国の上位法にならう場合や、今回の議会基本条例など議員提案で作成することもある。予算を含む条例については複雑で簡単には修正することは難しい。

(2) 市当局に関する事項

番号	意見、要望、提言等の内容	報告会における対応
1	子ども支援について。支援を行うのであれば給食費の無償化など継続的な支援が必要ではないか。能代にも給食費を払えない家庭も多いと聞く。横手市でも独自で10万円支給と聞いている。市としてはどう考えているのか。	給食費については一般質問などで取り上げている議員もいる。八峰町半額補助などもあり今後も支援を必要とすると思われる。
2	東能代駅前界限に土地を探す人が増えてきており新しく4世帯が町内に来た。この先、公務員に限らず、若者の年収アップが必要で、みんなで考えていくべきではないか。	大きな課題だと認識している。
3	団塊の世代の話で今後全国3500万人の高齢者が見込まれる中、(ピーク後に)介護人員が余っていかないか、離職者の増加や施設の倒産も考えられる。市として先手先手で対応を研究してもらいたい。	介護施設についても委員会で議論を深めていきたい。

4	若者の定着を目的に、若者の遊び場が必要ではないか。例えばボルダリング、スケボー、貸しスタジオなど健全な遊びの場が必要ではないか。	意見として頂戴する。
5	北高跡地のワークショップについて。冊子でやりたいことをやりこもうとしていないか。もっとスピーディーな方法があるのではないか。	北高跡地の一般質問も多数出ており(跡地に)文化施設や、高台で防災上の利点からそのままの利用等提案されているが、今後ともご意見をあげてもらえればと思う。
6	第5町内は過去に12%の寄付を行い区画整備が終わったが30年経過し、小規模な計画であったと感じる。東能代の駅名変更など五能線の起点として本線の重要拠点に関心をもってもらいたい。他市では横手駅や湯沢駅、大館駅では観光客の拠点として整備が進んでいる。(秋田発)新幹線の始発に乗れない等課題があり、もう少しJRと密に能代を売り込んでほしい。	後ほど回答する。
7	工業団地について。市としては今後どの規模を考えているのか。中国木材がこれ以上広げられない中、企業を誘致していく考えなのか。	工業団地については、残っていた土地をすべて使用することとなる。新たに県は整備しないが、市として更に私有地等も活用しながら増設を検討中。

(3) 議会報告に対する質疑

番号	質疑の内容	報告会における対応
1	今日配布された資料に目を通して、すぐに質問をするのは難しい。後日意見を受け付ける方法はあるのか。	ご指摘はごもっともであるが、配布のアンケートについては本日回収し、後日ご意見があれば対応したい。